



JA埼玉県女性協と埼玉県生協ネットワーク協議会早春交流会 おいしい食卓を目指し、地産地消を学習しました



JA女性協議会との第18回早春交流会をさいたま市浦和区のJAさいたま木崎ぐるめランドで51人が参加して開催しました。「近いうまい!さいたま産～地元農産物について知ろう～」をテーマに学習と交流をしました。

埼玉県と埼玉県生協連との第2回定期協議 安心なくらしの実現へ、 2月3日 埼玉県と意見交換を実施

埼玉県との2012年度第2回定期協議を開催しました。埼玉県生協連から2013年度の計画、会員生協の取り組みやネットワーク活動の取り組み等を報告し、埼玉県からは、「2013年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望への回答」があり、意見交換しました。



埼玉県食品安全局第2回食の安全・安心消費者懇談会 放射性物質検査はじめ、食の安全確保について懇談しました

埼玉県食品安全局と消費者との「2012年度第2回食の安全・安心消費者懇談会」が2月4日に開催され、前回の第1回(6月6日)に続き、「食品安全に関する当面の課題」について意見交換しました。



自由民主党長峰団長、加藤副団長、北郷政調会長、小林幹事長代理、土屋総務副会長と懇談

県議会各政党・会派との懇談会 40周年の埼玉県生協連の活動と 県内生協の取り組み等について懇談

県生協連と会員生協の事業状況、県生協連40周年記念事業の有識者アンケートとこれからの方向性、「福島の子ども保養プロジェクト」や2012国際協同組合年の取り組み等について説明し、質問もいただきながら意見交換しました。



民主党・無所属の会の島山団長、浅野目幹事長はじめ9人の議員の皆様と懇談



公明党の西山団長、石渡副団長、蒲生幹事長はじめ6人の皆様と懇談



日本共産党の柳下団長、村岡議員と懇談



埼玉県生協ネットワーク協議会公開学習会 一人ひとりが自分らしく ～社会へのつながりを学びました

青島祐子氏(東京女子大学非常勤講師)を講師に迎え、「キャリアデザインを描こう～自分らしく充実した生き方をめざして～」をテーマに公開学習会を埼玉会館で開催し、85人が参加しました。

埼玉県消費者団体交流会委託事業 2012年度県内消費者団体 地区別交流会を開催しました

県内消費者団体地区別交流会が、熊谷、春日部、川越の三会場で行われ、全体あわせて消費者団体37団体、119人が参加しました。行政も参加して行われた今年の交流会では、昨年8月に成立した消費者教育推進法の学習や交流をしました。今年も埼玉県の消費者団体交流会委託事業として開催されたものです。



コープみらい

「地域支えあいマップ体験」を地域に広げています

コープみらいでは、大きな災害が発生した時に、地域みんなで支えあって被害を減らす減災の取り組み「地域支えあいマップ体験」を、担い手に登録した方が講師になり地域に広げています。2月13日、担い手(講師)養成講座の2回目(全4回)を開催し、34人が参加しました。「担い手として学ぶ」をテーマに、参加者はペアになり「地域支えあいマップ体験」のすすめかたを体験、講師として必要な知識を学びました。

※さいたまコープ、コープとうきょう、ちばコープの三生協が合併し、2013年3月21日、新しい生協「生活協同組合コープみらい」に変わりました。



ハルシステム埼玉

地元産地で栽培管理を確認しました

ハルシステム埼玉は2月8日、岩槻駅東口コミュニティセンターで、「南埼玉産直ネットワーク公開確認会」を開催しました。公開確認会は、消費者が栽培記録や生産基準などから、生産者の取り組みを客観的に評価するハルシステム独自のシステムです。当日は、監査人、一般参加の組合員、県内産地の生産者、行政など88名が参加し、対象品目のルッコラと小松菜の栽培方法や安全性への取り組みを直接確認しました。



小松菜の採場を視察

監査書類で生産者に質問

生活クラブ生協

きばるの甘夏 ～交流会&学習会～

「1月28日はあまなつDAY」として甘夏生産者きばるの交流会と水俣を子どもたちに伝えるネットワークの田嶋さんを迎えて学習会を開催しました。生産者きばるでは慣行農法の1/3の農薬で育てることや9月以降は農薬を使用していないこと、またヘタ落ち防止剤や出荷時のワックスがけなども行っていません。大切に育てられた甘夏を食べ続けていくには生産者と共に協力していくことが必要と改めて実感しました。



医療生協さいたま

合併20周年大感謝祭 1万人の笑顔がつながりました!

1月20日、医療生協さいたま合併20周年大感謝祭が大宮ソニックシティにて行われ、約1万人が来場しました。「感謝」をキーワードに、講演やお笑いライブ、健康チェック、うまいもの市など、子どもも大人も楽しめるさまざまな企画を行いました。坂本冬美コンサートには福島から避難されている双葉町の皆さん50人を招待し、楽しんでいただけました。どの企画も大盛況で、参加者からは「医療生協ってこんな大きな催しができるんですね」との声が聞かれ、大感謝祭は、医療生協さいたまがあらたな一歩を歩みだす機会になりました。



広がる県内生協の 多彩な活動・交流



さいたま高齢協

被災地石巻市を訪問しました

3月10日、さいたま高齢協の4名で石巻を訪問、「こ～ぶのお家いしのまき」にて現地在住の方々や全国各地の高齢協ボランティアとの交流の場に参加しました。震災から2年経過した今、様々な立場にある実践者の皆様のお話から本音や心情を伺い、現状の課題や問題点を見つめ直し、楽しい催し物や会食を共にしながら、有意義な一日となりました。



埼玉県労働者共済生協

第40回小学生作品コンクールを開催しました

2月23日、全労済埼玉県本部会館にて第40回小学生作品コンクール埼玉県表彰式が開催されました。40回目の開催となる今年も作文の部・版画の部に分かれて作品募集を行い、県内の37小学校から作文73点・版画1,505点と多くの応募があり、作文・版画各学年にて金賞1点・銀賞2点・銅賞5点が表彰されました。



さいたま住宅生協

創立20周年を祝いました

さいたま住宅生協の「創立20周年記念のつどい」が1月18日、さいたま共済会館で開かれ、県内外の友誼団体他、多数が参加し20年間の活動を称え合いました。理事長より住宅生協の発足から今日に至るまでの活動の経過と果たした役割が紹介されました。さらに、集いではチェルノブイリで被災した歌手のナターシャ・グジー(バンドゥラ奏者)さんをゲストに迎え、美しい歌声と演奏で集いを盛り上げ参加者から圧倒的な賞賛を受けました。



埼玉大学生協

新生活サポートセンタースタート!

3月6日前期合格発表があり、いよいよ2013年新学期サポート活動が始まりました。大学との業務委託契約に基づき、住まい紹介、キャンパスパソコン提案をはじめ、学生委員会企画の仲間作り新歓行事「スプリングフェスティバル」の参加案内を行いました。生協加入、学生総合共済加入をはじめ、学生生活の不安を解消し、よいスタートを切って頂けるよう全力でサポートしました。

